

問1 16世紀のポルトガルによる日本への鉄砲伝来やキリスト教の布教は、当時のヨーロッパにおける宗教的情勢と深く関わっています。カトリック諸国がアジアへの進出を強めた背景について、正しい用語を組み合わせた説明を選びなさい。 (2021年 愛知公立入試 類似)

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 宗教改革によって誕生したプロテスタントに對抗し、カトリックが海外進出を通じて勢力拡大を図った。 | 2. ルネサンスの影響で誕生したプロテスタントが、カトリックを国外へ追放するために海外進出を支援した。 | 3. 十字軍の遠征によってカトリックが衰退したため、新しく誕生したプロテスタントが海外貿易を主導した。 | 4. 宗教改革を弾圧したカトリック諸国が、プロテスタントと協力してアジアでのキリスト教布教を進めた。 |
|--|---|---|--|

問2 室町時代後期から戦国時代にかけて、実力で領地を拡大した戦国大名たちが、幕府の法律に頼らず自らの領国を統治するために独自に定めた法律を何と呼ぶか、正しい名称を選びなさい。 (2026年 大阪公立入試 類似)

- |        |          |          |           |
|--------|----------|----------|-----------|
| 1. 分国法 | 2. 御成敗式目 | 3. 武家諸法度 | 4. 公事方御定書 |
|--------|----------|----------|-----------|

問3 日本列島の地理的区分において、中国地方の日本海側に位置する島根県にあり、戦国時代に大名の保護を受けた商人たちによって大規模な開発が進められた銀山はどれですか。 (2023年 岐阜公立入試 類似)

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 石見銀山 | 2. 佐渡金山 | 3. 足尾銅山 | 4. 生野銀山 |
|---------|---------|---------|---------|

問4 室町幕府が最終的に滅亡を迎えた過程について、1573年に行われた出来事として正しい説明はどれですか。 (2018年 静岡公立入試 類似)

- |                                      |                                      |  |                                     |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 織田信長が、対立を深めていた15代将軍の足利義昭を京都から追放した | 2. 織田信長が、鉄砲を組織的に用いて長篠の戦いで武田勝頼の軍勢を破った | 3. 織田信長が、布教活動を行っていたフランシスコ・ザビエルにキリスト教の保護を約束した | 4. 織田信長が、比叡山延暦寺を焼き討ちして宗教勢力の軍事力を排除した |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|

問5 ヨーロッパからアジアへ向かう海上航路において、アフリカ大陸の南端に位置し、中継地点として重要な役割を果たした場所の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

- |        |           |          |          |
|--------|-----------|----------|----------|
| 1. 喜望峯 | 2. マゼラン海峡 | 3. パナマ運河 | 4. スエズ運河 |
|--------|-----------|----------|----------|

問6 鉄砲の伝来がその後の日本の戦い方や社会に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 1. 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。 | 2. 武士個人の技術がより重視されるようになり、刀や弓矢による一騎打ちが増加した。 | 3. 外国との交易が危険視されたため、すぐに鉄砲の使用や製造が全面的に禁止された。 | 4. 鉄砲の製造が困難であったため、一部の特権階級のみが儀礼用として保持した。 |
|--|---|---|---|

問7 16世紀の記録において「長さ二、三尺の筒状の道具で、火を放つと雷のような音がする」と描写された武器が、日本の築城技術に与えた影響として正しいものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)

- |  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 1. 鉄砲の威力に対抗するため、高い石垣や厚い壁、複雑な堀を備えた城が築かれるようになった。 | 2. 鉄砲の重さに耐えられるよう、城の主要な構造物がすべて巨大な岩石のみで作られるようになった。 | 3. 鉄砲の射程距離を避けるために、城はすべて人里離れた険しい山頂にのみ築かれるようになった。 | 4. 鉄砲による火災を防ぐため、城の周囲に広大な水堀を作るのをやめ、空堀が主流となった。 |
|--|--|---|--|

問8 戦国時代、石見銀山などの鉱山開発が各地で盛んに行われた背景として、戦国大名が銀を求めた主な目的について説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2023年 岐阜公立入試 類似)

- |                                    |                                  |                                 |                               |
|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 1. 鉄砲や火薬などの軍需品を調達する資金や、家臣への恩賞とするため | 2. キリスト教の布教活動を支えるための寄付金として活用するため | 3. 農村での貨幣経済を禁止し、年貢をすべて銀で納めさせるため | 4. 朝廷から高い官位を得るための献上物として独占するため |
|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|

問9 日本に鉄砲が伝来した16世紀半ばの世界情勢について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)

- |   |                                     |   |                                    |
|---|-------------------------------------|---|------------------------------------|
| 1. ドイツのルターが、ローマ教皇や教会の権威を否定し宗教改革を開始していた。 | 2. ムハンマドがイスラム教を創始し、アラビア半島の統一を進めていた。 | 3. チンギス・ハンがモンゴル帝国を建国し、ユーラシア大陸の広範囲を支配していた。 | 4. アメリカでリンカーンが大統領に就任し、南北戦争が勃発していた。 |
|---|-------------------------------------|---|------------------------------------|

問10 戦国時代の都市についてまとめられた資料において、「有力な商人による自治的な運営が行われていたこと」「種子島に伝来した鉄砲の主要な生産拠点となったこと」「千利休などの商人がわび茶の文化を完成させたこと」という3つの特徴を持つ、現在の大阪府に位置する港町はどこですか。 (2023年 滋賀公立入試 類似)

- |      |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|
| 1. 堺 | 2. 博多 | 3. 長崎 | 4. 平戸 |
|------|-------|-------|-------|

問11 越前国（現在の福井県）を支配した朝倉氏の法には、本拠地である朝倉館のほか国内に城を構えることを禁じ、有力な家臣を一乗谷に移住させるよう命じた規定があります。戦国大名がこのように定めに代表される「分国法」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 三重公立入試 類似)

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 1. 家臣を城下町に集めて監視・統制を強め、反乱を防ぐとともに領国支配を安定させるため。 | 2. 幕府が定めた武家諸法度を遵守させ、将軍への忠誠心を高めるための準備を行うため。 | 3. 一乗谷を商業の中心地とし、家臣に農業ではなく外国との貿易に専念させるため。 | 4. 村々に代官を置くことで、農民から直接税を徴収する太閤検地の予備調査を行うため。 |
|--|--|--|--|

問12 戦国時代において、戦国大名が自らの領国内の秩序を維持し、家臣や民衆を統治するために独自に制定した法律を何と呼びますか。江戸時代に幕府が定めた武家諸法度とは異なり、各大名が自分の領土の実情に合わせて定めたものを指します。 (2021年 三重公立入試 類似)

- |        |          |           |          |
|--------|----------|-----------|----------|
| 1. 分国法 | 2. 武家諸法度 | 3. 公事方御定書 | 4. 御成敗式目 |
|--------|----------|-----------|----------|

問13 戦国時代、九州の種子島に伝来した武器をきっかけとして始まった南蛮貿易について、当時の状況を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)

- |                                    |                                       |  |  |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 1. キリスト教の布教を伴い、鉄砲や火薬などの軍事物資が輸入された。 | 2. 幕府の許可を得た朱印船により、東南アジア諸国との間で盛んに行われた。 | 3. キリスト教の布教は厳しく制限され、貿易の窓口は長崎の出島に限定された。 | 4. 銀や銅を輸出する代わりに、欧米から蒸気機関などの近代技術が導入された。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|--|

問14 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の良質な銀を生産したことで知られ、2007年にはその歴史的価値が認められて世界文化遺産に登録された鉱山を選んでください。 (2019年 和歌山公立入試 類似)

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 石見銀山 | 2. 佐渡金山 | 3. 生野銀山 | 4. 足尾銅山 |
|---------|---------|---------|---------|

## 答え合わせ・解説

|     |   |   |
|-----|---|---|
| 問1  | 答え 1<br>宗教改革によって誕生したプロテスタントに対抗し、カトリックが海外進出を通じて勢力拡大を図った。 | 当時のヨーロッパでは、宗教改革の進展によってキリスト教の世界がプロテスタントとカトリックに二分されていました。特にポルトガルやスペインなどのカトリック諸国にとって、海外進出は単なる商業的な利益だけでなく、プロテスタントに対抗してカトリックの教えを世界に広めるという重要な使命を持っていました。このため、大航海時代の進出は貿易とキリスト教の布教が一体となって進められました。    |
| 問2  | 答え 1<br>分国法   | 戦国大名は、自らの力で手に入れた領地を安定して支配（領国支配）するために、家臣の行動を制限したり、領民の争いを裁いたりするための独自のルールを定めました。これは「家法」とも呼ばれます。鎌倉時代の「御成敗式目」や、後の江戸時代の「武家諸法度」と混同しないよう注意が必要です。  |
| 問3  | 答え 1<br>石見銀山  | 石見銀山は、16世紀前半に博多の商人である神屋寿禎らによって本格的に開発されました。戦国大名の尼子氏や毛利氏がこの地の支配権をめぐる争い、江戸時代には幕府の直轄地（天領）となりました。島根県の大田市に位置し、世界文化遺産にも登録されています。   |
| 問4  | 答え 1<br>織田信長が、対立を深めていた15代将軍の足利義昭を京都から追放した               | 織田信長は当初、足利義昭を擁立して京都に上洛しましたが、後に自らの政策を制限しようとする義昭と激しく対立しました。1573年、信長は義昭を京都から追放し、これにより200年以上続いた室町幕府は実質的に滅亡しました。鉄砲の伝来やキリスト教の布教開始はそれ以前の出来事であり、幕府滅亡の直接的な政治的要因は信長と将軍の対立にあります。                         |
| 問5  | 答え 1<br>喜望峰   | アフリカ大陸の最南端付近にあるこの地点は、ポルトガルの航海者バルトロメウ・ディアスによって到達され、のちにバスコ・ダ・ガマがここを通過してインド洋へと入り、インドへの航路を確立しました。大航海時代におけるインド航路の象徴的な中継地点です。   |
| 問6  | 答え 1<br>集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。         | 鉄砲の普及により、それまでの騎馬武者による一騎打ち中心の戦い方から、足軽による集団戦術へと大きく変化しました。織田信長が長篠の戦いで鉄砲隊を活用したことはその代表例です。また、鉄砲や大砲の攻撃に耐えるため、石垣を高く積み上げ、広い堀を持つ巨大な城郭が築かれるようになるなど、軍事・建築の両面に大きな変革をもたらしました。                              |
| 問7  | 答え 1<br>鉄砲の威力に対抗するため、高い石垣や厚い壁、複雑な堀を備えた城が築かれるようになった。     | 鉄砲の普及は、城のあり方を大きく変えました。それまでの簡素な「山城」から、鉄砲の攻撃に耐える強固な石垣や、敵を迎え撃つための窓（狭間）を持つ天守などを備えた「平城」や「平山城」へと進化しました。これにより、城は軍事拠点としてだけでなく、領主の権威を象徴する政治的中心地としての役割も強めることとなりました。                                     |
| 問8  | 答え 1<br>鉄砲や火薬などの軍需品を調達する資金や、家臣への恩賞とするため                 | 戦国大名は、自国の軍事を強化するために多額の資金を必要としていました。特に種子島に伝来した鉄砲やその弾薬となる鉛、火薬の原料となる硝石を海外から購入するための支払い手段として、また功績のあった家臣への報酬として、銀は極めて重要な価値を持っていました。   |
| 問9  | 答え 1<br>ドイツのルターが、ローマ教皇や教会の権威を否定し宗教改革を開始していた。            | 鉄砲が伝来した1543年は16世紀にあたります。この時期、ドイツではルターによる宗教改革が進んでいました。他の選択肢について、イスラム教の創始は7世紀、モンゴル帝国の建国は13世紀初頭、アメリカ南北戦争は19世紀の出来事であり、いずれも鉄砲伝来の時期とは重なりません。  |
| 問10 | 答え 1<br>堺   | 戦国時代の堺は、会合衆（えごうしゅう）と呼ばれる有力な商人が中心となって自治的な町運営を行っていました。堀を巡らせて自衛を行うほど経済力と組織力を持っており、鉄砲の生産や茶の湯といった文化の面でも、日本の歴史上重要な役割を果たしました。  |
| 問1  | 答え 1<br>家臣を城下町に集めて監視・統制を強め、反乱を防ぐとともに領国支配を安定させるため。       | 戦国大名は、家臣が各地で独立した勢力を持つことを防ぐため、分国法によって城の建築を制限したり、家臣を自身の本拠地（城下町）へ強制的に住ませたりしました。これにより、大名は家臣を直接コントロール下に置き、軍事を集中させることで強固な領国支配を実現しようとしていました。   |
| 問1  | 答え 1<br>分国法   | 室町幕府の権威が衰えた戦国時代、各地の戦国大名は自らの力で領国支配を確立する必要性がありました。そこで、領地内の紛争解決や家臣の統制を目的として、独自の法である分国法を制定しました。代表的なものに、武田氏の「甲州法度之次第」や今川氏の「今川仮名目録」などがあります。   |
| 問1  | 答え 1<br>3<br>キリスト教の布教を伴い、鉄砲や火薬などの軍事物資が輸入された。            | ポルトガルとの南蛮貿易では、戦国大名たちが武力強化のために鉄砲やその原料となる硝石（火薬の原料）を強く求めました。宣教師たちは貿易の利益を背景に布教活動への協力を求め、多くの戦国大名が貿易の利潤を得るためにキリスト教の布教を許可しました。   |
| 問1  | 答え 1<br>4<br>石見銀山                                       | 戦国時代から江戸時代にかけて、日本は世界有数の銀産出国でした。特に島根県の石見銀山は、16世紀に導入された「灰吹法（はいふきほう）」という新しい精錬技術によって生産量が飛躍的に増大しました。この銀は「ソーマ銀」とも呼ばれ、東アジアやヨーロッパとの交易においても重要な役割を果たしました。2007年に、環境に配慮した鉱山運営や流通の歴史が評価され、世界文化遺産に登録されています。 |